平成29年３月期　第２四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

平成28年10月27日

上場会社名　クラリオン株式会社　上場取引所　東
コード番号　6796　URL http://www.clarion.com
代表者（役職名）執行役社長兼ＣＯＯ（氏名）川本英利
問合せ先責任者（役職名）執行役社長室本部長（氏名）新保邦彦　(TEL) 048-601-3700
四半期報告書提出予定日　平成28年11月10日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成29年３月期第２四半期の連結業績（平成28年４月１日～平成28年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年３月期第２四半期	94,482	△13.4	4,463	△15.1	4,454	△12.3	3,190	△17.6	△1,097	－
28年３月期第２四半期	109,092	14.5	5,260	45.7	5,081	59.2	3,872	57.1	2,916	△29.9

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円　銭	円　銭
29年３月期第２四半期	11.32	－
28年３月期第２四半期	13.74	－

〔重要〕平成29年3月期第1四半期から「営業利益」には当社が連結経営成績に関する指標として用いている「調整後営業利益」を記載しており、対前年同四半期数値及び対前年同四半期増減率の表示も組み替えています。「調整後営業利益」は、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です。
本ページ以外では、「税引前利益」「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を「税引前四半期利益」「親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しています。「基本的１株当たり四半期利益」「希薄化後１株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しており、本ページ以外では、「基本１株当たり親会社株主に帰属する四半期利益」「希薄化後１株当たり親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しています。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年３月期第２四半期	125,717	35,911	35,766	28.4
28年３月期	131,031	37,855	37,688	28.8

本ページ以外では、「親会社の所有者に帰属する持分」「親会社所有者帰属持分比率」を「親会社株主持分」「親会社株主持分比率」と表示しています。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
28年３月期	－	－	－	3.00	3.00
29年３月期	－	－			
29年３月期(予想)			－	－	－

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

平成29年３月期の配当につきましては、業績等を考慮して検討いたします。

３．平成29年３月期の連結業績予想（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△7.5	10,000	△8.9	9,000	△14.3	6,500	△16.1	23.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

〔重要〕「営業利益」には、当社が連結経営成績に関する指標として用いている「調整後営業利益」を記載しています。「調整後営業利益」は、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　－社（社名）－　　、除外　　－社（社名）－

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年３月期２Ｑ	282,744,185株	28年３月期	282,744,185株
②　期末自己株式数	29年３月期２Ｑ	889,281株	28年３月期	883,594株
③　期中平均株式数(四半期累計)	29年３月期２Ｑ	281,858,352株	28年３月期２Ｑ	281,879,528株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更 ……3
３．要約四半期連結財務諸表 ……4
（１）要約四半期連結財政状態計算書 ……4
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 ……6
（３）要約四半期連結持分変動計算書 ……8
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、６月下旬の英国のＥＵ離脱による円高不安はありましたが、業況判断の急激な悪化が避けられたことや新興国経済減速に歯止めがかかったこと、加えて熊本地震の影響収束などにより自動車産業や鉄鋼業など一部の業種において改善の傾向がみられるものの、全体としては第１四半期から横這いの状況であります。

2016年前半の世界景気は、米国では昨年来の減速の流れに落着きを取り戻しつつあり、ユーロ圏では緩やかながらも継続した拡大基調を示しております。一方、中国では景気は拡大するもその勢いは減速傾向が続き、また、新興国では最悪期を脱し、現在では二極化の現象が表れております。全体としては一時期の景気減速傾向から改善の様相を呈しております。

当社グループの関連する自動車業界の主要マーケットにおける本年１月～９月の新車販売台数を前年同期で比較しますと、日本は依然低迷から脱することができず3.4％減、米国は0.5％増と横這い、ドイツ、フランス、中国、インドにおいては堅調な伸びを示しております。

このような市場環境のもと当社グループは、事業ポーフォリオの変革を掲げ自動運転、自動駐車を中心としたセーフティアンドインフォメーション事業とインターネットと車をつなぐコネクティビティ事業を、将来に向けての成長の柱として強化しております。同時に、グローバル事業運営として日本中心の収益構造を海外へとシフトすべく事業構造の見直しにも着手してまいりました。

当第２四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

当社グループにおきましては、米州、中国におけるＯＥＭ（相手先ブランドによる生産）製品の伸張がありましたものの、円高による為替影響を大きく受け、また、日本国内の厳しい市場環境のもと、売上収益は944億82百万円と前年同期比13.4％の減収となりました。

損益面につきましては、原価低減の推進に努めたものの売上減収の影響が大きく、調整後営業利益は44億63百万円と前年同期比15.1％の減益、営業利益は46億6百万円と前年同期比16.3％の減益となりました。また、税引前四半期利益は44億54百万円と前年同期比12.3％の減益、親会社株主に帰属する四半期利益は31億90百万円と前年同期比17.6％の減益となりました。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上収益は外部顧客に対する売上収益を記載しており、各セグメントの利益は、営業利益であります。

（日本）

国内における新車販売の低迷、市場回復の遅れが続き、当セグメントの売上収益は340億12百万円と前年同期比21.1％の減収となりました。損益面につきましても、全社をあげた原価低減活動推進、北米向け製品生産増による操業度改善等がありましたものの、売上減収の影響が大きく、営業利益は23億98百万円と前年同期比14.5％の減益となりました。

（米州）

米国での好調な自動車販売、ＯＥＭ市場向け製品の伸張等により売上規模は拡大したものの、円高による為替影響を吸収できず、当セグメントの売上収益は427億1百万円と前年同期比7.3％の減収、また、損益面につきましても営業利益は11億29百万円と前年同期比18.2％の減益となりました。

（欧州）

欧州においては緩やかながら景気拡大基調を示しているものの、為替影響により売上減少となり、当セグメントの売上収益は61億22百万円と前年同期比9.1％の減収となりました。また、損益面につきましては、売上減収により、営業利益は10百万円と前年同期比77.3％の減益となりました。

（アジア・豪州）

中国でのＯＥＭ市場向け製品の売上拡大がありましたが、タイでのＯＥＭ市場向け売上減少と為替影響により、当セグメントの売上収益は116億45百万円と前年同期比11.9％の減収となりました。損益面につきましては、中国での売上増収等により、営業利益は15億59百万円と前年同期比1.7％の増益となりました。

なお、当第２四半期連結累計期間の決算に使用した損益為替レートは以下のとおりです。

		第１四半期	第２四半期
当期為替レート	米ドル	約108円	約102円
	ユーロ	約122円	約114円
前期　（参考）	米ドル	約121円	約122円
	ユーロ	約134円	約136円

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第２四半期連結会計期間の資産につきましては、総資産が1,257億17百万円であり、前連結会計年度末より53億14百万円減少いたしました。このうち、流動資産につきましては695億65百万円であり、前連結会計年度末より16億80百万円減少いたしました。非流動資産は561億52百万円であり、前連結会計年度末より36億33百万円減少いたしました。

負債につきましては、898億6百万円であり、前連結会計年度末より33億69百万円減少いたしました。

資本につきましては、親会社株主持分が357億66百万円であり、前連結会計年度末より19億22百万円減少いたしました。主に在外営業活動体の換算差額等が減少したことにより、その他の包括利益累計額が42億68百万円減少した結果であります。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、168億6百万円(前年同期末残高は85億91百万円)となりました。

営業活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、四半期利益、減価償却費及び無形資産償却費の計上、売上債権の減少等により、99億43百万円の収入(前年同期は68億17百万円の収入)となりました。

投資活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形資産の取得等により、51億83百万円の支出(前年同期は64億47百万円の支出)となりました。

財務活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払及び長期借入債務の償還等により13億22百万円の支出(前年同期は3億79百万円の収入)となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成28年５月10日の「平成28年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当該事項はありません。

３．要約四半期連結財務諸表

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位　百万円）

	前連結会計年度 (2016年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2016年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	14,326	16,806
売上債権	30,427	26,830
未収入金	1,245	1,546
棚卸資産	22,419	21,688
その他の金融資産	866	522
その他の流動資産	1,960	2,170
流動資産合計	71,245	69,565
非流動資産		
有形固定資産	24,614	22,599
無形資産	26,274	25,116
持分法で会計処理されている投資	1,262	1,165
有価証券及びその他の金融資産	2,393	2,340
繰延税金資産	3,986	3,732
その他の非流動資産	1,253	1,197
非流動資産合計	59,786	56,152
資産の部合計	131,031	125,717

（単位　百万円）

	前連結会計年度 (2016年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2016年９月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	255	226
償還期長期債務	833	9,732
買入債務	25,650	24,478
未払金	7,458	5,767
その他の金融負債	169	168
未払費用	10,312	9,703
未払法人所得税	1,910	1,640
引当金	581	546
その他の流動負債	561	615
流動負債合計	47,732	52,879
非流動負債		
長期債務	34,788	25,688
その他の金融負債	1,286	2,037
退職給付に係る負債	8,707	8,629
引当金	406	357
その他の非流動負債	254	213
非流動負債合計	45,443	36,927
負債の部合計	93,176	89,806
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	20,346	20,346
利益剰余金	14,124	16,471
その他の包括利益累計額	3,366	△901
自己株式	△148	△150
親会社株主持分合計	37,688	35,766
非支配持分	166	145
資本の部合計	37,855	35,911
負債・資本の部合計	131,031	125,717

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位　百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2015年４月１日 至　2015年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2016年４月１日 至　2016年９月30日）
売上収益	109,092	94,482
売上原価	90,547	77,729
売上総利益	18,544	16,752
販売費及び一般管理費	13,283	12,289
調整後営業利益	5,260	4,463
その他の収益	469	247
その他の費用	226	105
営業利益	5,504	4,606
金融収益	74	77
金融費用	652	330
持分法による投資利益	155	100
税引前四半期利益	5,081	4,454
法人所得税費用	1,207	1,258
四半期利益	3,873	3,195
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分	3,872	3,190
非支配持分	1	5
１株当たり親会社株主に帰属する四半期利益：		
基本	13.74円	11.32円
希薄化後	－	－

要約四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位　百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2015年４月１日 至　2015年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2016年４月１日 至　2016年９月30日）
四半期利益	3,873	3,195
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額	4	△54
純損益に組み替えられない項目合計	4	△54
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△776	△4,086
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	1	7
持分法のその他の包括利益	△186	△159
純損益に組み替えられる可能性がある項目合計	△961	△4,238
その他の包括利益合計	△957	△4,292
四半期包括利益	2,916	△1,097
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	2,942	△1,075
非支配持分	△25	△21

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第２四半期連結累計期間 （自 2015年４月１日 至 2015年９月30日）

（単位 百万円）

	親会社株主持分					非支配持分	資本の部合計
	資本金	利益剰余金	その他の包括利益累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	6,934	7,681	△139	34,823	171	34,994
変動額							
四半期利益		3,872			3,872	1	3,873
その他の包括利益			△930		△930	△26	△957
四半期包括利益合計		3,872	△930		2,942	△25	2,916
親会社株主に対する配当金		△563			△563		△563
自己株式の取得				△4	△4		△4
変動額合計	－	3,308	△930	△4	2,374	△25	2,348
期末残高	20,346	10,243	6,750	△143	37,198	145	37,343

当第２四半期連結累計期間 （自 2016年４月１日 至 2016年９月30日）

（単位 百万円）

	親会社株主持分					非支配持分	資本の部合計
	資本金	利益剰余金	その他の包括利益累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	14,124	3,366	△148	37,688	166	37,855
変動額							
四半期利益		3,190			3,190	5	3,195
その他の包括利益			△4,266		△4,266	△26	△4,292
四半期包括利益合計		3,190	△4,266		△1,075	△21	△1,097
親会社株主に対する配当金		△845			△845		△845
自己株式の取得				△1	△1		△1
利益剰余金への振替		1	△1		－		－
変動額合計	－	2,346	△4,268	△1	△1,922	△21	△1,944
期末残高	20,346	16,471	△901	△150	35,766	145	35,911

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位　百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2015年４月１日 至　2015年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2016年４月１日 至　2016年９月30日）
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	3,873	3,195
四半期利益から営業活動に関するキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	5,954	5,792
法人所得税費用	1,207	1,258
持分法による投資利益	△155	△100
金融収益及び金融費用	578	252
固定資産売却等損益	△160	△5
売上債権の増減	△1,183	1,120
棚卸資産の増減	△4,491	△932
買入債務の増減	3,938	784
引当金の増減	18	△16
退職給付に係る負債の増減	△189	△120
その他	△1,270	215
小計	8,120	11,444
利息の受取	57	47
配当金の受取	18	52
利息の支払	△189	△145
法人所得税の支払	△1,189	△1,456
営業活動に関するキャッシュ・フロー	6,817	9,943
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△2,310	△1,247
無形資産の取得	△4,488	△3,926
有形固定資産の売却	352	17
有価証券及びその他の金融資産の取得	△48	△75
有価証券及びその他の金融資産の売却	0	22
その他	47	26
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△6,447	△5,183
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減	1,464	－
長期借入債務による調達	8,000	－
長期借入債務の償還	△8,517	△481
配当金の支払	△563	△845
未払配当金の増減	－	6
自己株式の取得	△4	△1
財務活動に関するキャッシュ・フロー	379	△1,322
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△415	△955
現金及び現金同等物の増減	333	2,480
現金及び現金同等物の期首残高	8,257	14,326
現金及び現金同等物の期末残高	8,591	16,806

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第２四半期連結累計期間(自　2015年４月１日　至　2015年９月30日)

（単位　百万円）

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	43,087	46,053	6,738	13,213	109,092	－	109,092
セグメント間の売上収益	33,877	2,542	1,919	31,456	69,796	△69,796	－
計	76,964	48,596	8,657	44,670	178,888	△69,796	109,092
調整後営業利益	2,687	1,353	36	1,413	5,490	△229	5,260
セグメント利益	2,803	1,381	44	1,533	5,763	△258	5,504
金融収益	－	－	－	－	－	－	74
金融費用	－	－	－	－	－	－	652
持分法による投資利益	－	－	－	－	－	－	155
税引前四半期利益	－	－	－	－	－	－	5,081

（注）　セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額△258百万円は全額セグメント間取引消去であります。

当第２四半期連結累計期間(自　2016年４月１日　至　2016年９月30日)

（単位　百万円）

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	34,012	42,701	6,122	11,645	94,482	－	94,482
セグメント間の売上収益	33,950	1,685	1,541	23,932	61,109	△61,109	－
計	67,962	44,386	7,664	35,578	155,592	△61,109	94,482
調整後営業利益	2,254	1,121	1	1,547	4,925	△461	4,463
セグメント利益	2,398	1,129	10	1,559	5,097	△491	4,606
金融収益	－	－	－	－	－	－	77
金融費用	－	－	－	－	－	－	330
持分法による投資利益	－	－	－	－	－	－	100
税引前四半期利益	－	－	－	－	－	－	4,454

（注）　セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額△491百万円は全額セグメント間取引消去であります。